

## 京丹後型スポーツイベント運営モデル共創プロジェクト

～ウルトラマラソンを起点に、多様な地域イベントの持続可能な運営体制を構築～

【事業所管課】生涯学習課スポーツ推進室

<p>実現したい未来</p>	<p>京丹後市では、「丹後100kmウルトラマラソン」をはじめ、「ドラゴンカヌー大会」「丹後大学駅伝」など、地域の風土を活かした大型スポーツイベントを年間を通して多数開催しています。これらのイベントは、地域住民・団体・行政が一体となって支えてきた「手づくりの地域資源」であり、交流人口の増加や地域経済の活性化、スポーツを通じたまちの誇り形成に寄与してきました。</p> <p>最大規模である「丹後100kmウルトラマラソン」から、民間と連携した新たな運営モデルを構築し、得られた知見を他イベント（ドラゴンカヌー・丹後大学駅伝等）にも横展開することで、地域全体のスポーツ文化と運営基盤の持続可能性を高めていくことを目指します。</p>		<p>① 運営の省人化・効率化（テクノロジー活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動給水機、モバイルエイド、看板誘導等で人手を最小限に</li> <li>・ドローン・AIカメラ・通信アプリ等による運営支援の自動化・可視化</li> </ul> <p>② 業務の仕組み化・アウトソーシング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エイド、受付、設営撤収などを包括的に委託し、業務単位で事業化</li> <li>・地元スタッフ不要の外部人材派遣型モデル（学生・副業・都市部人材）</li> <li>・複数イベント（ウルトラマラソン・ドラゴンカヌー・駅伝等）を一括対応する年間業務契約スキーム、物流、管理、運営、集客、人材などを統合的に支援する地域イベント運営基盤の構築</li> </ul> <p>③ 収益化・継続可能な仕組み（自走型）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント期間中の飲食・物販・広告出稿・サービス提供による収益確保 例：エイド運営と連動した地元商品販売、企業プロモーションとの連携</li> <li>・ボランティア体験を組み込んだ着地型観光商品（有料ツアー）</li> </ul>
<p>現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の高齢化や人口減少、地域内人材の偏在により、各イベントの人的リソース確保が年々困難となり、持続的な開催が危ぶまれる状況となっています。</li> <li>・丹後100kmウルトラマラソンは、全国から約1,000名超のランナーが集う本市最大級のスポーツイベント。全体で数百人のボランティアと関係者が運営に従事しているが、運営に大きな労力・人数を要し、地元人材に依存しているが、その確保が年々難化しています。</li> </ul>	<p>想定する解決策</p>	<p style="text-align: center;">イメージ写真</p>
<p>解決したい課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各イベントの運営に必要な人材（ボランティア等）の確保が困難</li> <li>・同一の団体や個人への役割集中・負担増加</li> <li>・属人的な運営体制により、ノウハウ継承や質の維持が難しい</li> <li>・多様なスポーツイベントの安定開催に向けた横断的な支援体制の必要性</li> </ul>	<p>民間側の想定メリット</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 複数イベントへの展開機会</li> <li>② 自社サービスの実装・収益化</li> <li>③ 地域連携（物販・飲食・体験サービス、協賛広告など）による収益機会の創出</li> <li>④ 社会的価値・ブランド力の向上</li> <li>⑤ 公共フィールドでの実績と他自治体への展開性</li> </ol>